



なかしま ゆきお
中嶋由紀夫さん



いだてん

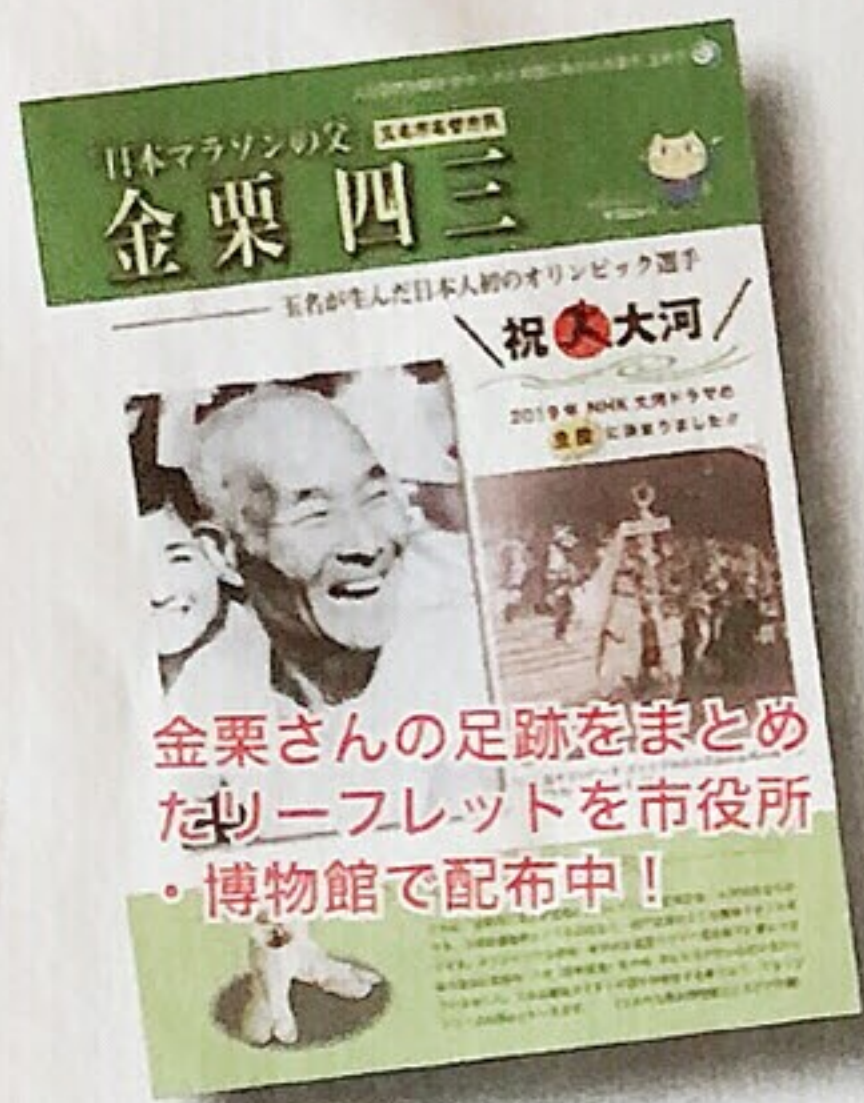
うししまし けんすけ
牛島俊介さん



「金栗さんと同じ玉高出身で、働いている玉名で撮影があると知り、なかなか体験できることではないと思い、参加しました。俵ころがしの場所に凝ったセットが設置してあり、よりリアルに昔の高瀬の賑わいを想像することができました」



熊本県出身の有名人である金栗さんが大河ドラマの主人公の一人となることもあって、エキストラ募集には玉名市からだけでなく和木町や熊本市など県内各地から応募が殺到。みごと選ばれたエキストラの皆さんは、早朝から衣装やメイクの支度をした後、米や野菜など物流の集積場での熱気あふれるシーンの撮影に臨みました。また、滑石漁協の皆さんは船頭役での出演のほか、カメラマンを漁船に乗せて撮影に協力。仲買人の役を演じたエキストラの中嶋由紀夫さん（玉名市）からは、「金栗さんは、日本で最初のオリンピック選手になった地元の英雄。早朝からのロケは寒かったし眠かったけれど、いい記念になりました」と笑顔で感想を頂きました。エキストラの皆さんは、これを機会に玉名がこれからもっと盛り上がっていくと思う、と期待を語りあっていました。大河ドラマ「いだてん」は来年1月から放送開始の予定です。



おやまり さこ
小山里紗子さん（左）
「玉名市名誉市民の金栗さんの人生がドラマにされ、すごい方なんだと撮影を終えて改めて驚いています。そのドラマにエキストラとして出演し、素晴らしい体験ができ感謝しています」

きむらせいらい
木村星来さん（中央）
「エキストラにも細かい役の設定や動きがあり思っていたより難しかったのですが、スタッフの方が丁寧に指示して下さいのおかげで、本当にタイムスリップしているようでした」

まえかわともみ
前川智美さん（右）



やまくちそう
山口聡さん

やまくちよしあき
山口義昭さん（左）
まつもとのりあき
松本憲昭さん（右）
（滑石漁協）

「昔から船をやっているベテランの竿をさせる人が小さい船に乗って出演し、若手はカメラマンが乗る大きい船に乗った。こうやって大河ドラマという2度とないチャンスに参加することができて嬉しい」

「最初はプレッシャーがあったけど楽しかった」



エキストラの皆さんの感想は市ホームページに詳しく掲載しています。